

別紙2

事務事業評価(事後評価)シート【平成29年度】

主管課名(担当名)	教育総務課(学校教育担当)		
事務事業名	学習サポート教室開催事業	事業番号	12239
重点プロジェクト	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	評価時期	<input type="checkbox"/> 中間 <input checked="" type="checkbox"/> 事後
		事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治 <input type="checkbox"/> 法定受託

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	3-3 義務教育の充実
	施策目標	確かな学力を身につけ豊かな人間性を育むまち

2 事務事業の概要と目的

対象	事務や事業が対象としている人や団体など	小学校3年生～6年生及び中学生
	対象者の今後の予想	年々減少と予想
活動内容 (事業の概要や具体的な内容、方法など)	夏季休業期間を利用して、北海道教育大学釧路校の学生や市学力向上補助教員等を講師として、小学校3年生～6年生及び中学生を対象として学習サポート教室を開催する。	
意図 (どのような成果を得ようとしているのか)	児童生徒一人ひとりが自己の学習課題に取り組む態度を育てるとともに、学習のつまづきへの支援を行い、基礎・基本的な学力の定着を図る。	

3 事務事業の現状

活動指標名	計画値(H27)	実績値					目標値(H32)	目標値(H37)
		H27	H28	H29	H30	H31		
1 学習サポート教室の参加人数	70名	15名	8名	8名			70名	70名
2 アンケート調査の「学習が進んだ」と回答した割合	90%	94%	100%	100%			100%	100%
3								
4								
事業費(=下記内訳計)		H29予算		H29決算		H30予算		
		313		184				
内訳	国道支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源	313		184				
人員(人工)				0.08		0.08		
職員人件費(=人員(人工)×7,696千円)				646		646		
総事業費(=事業費+職員人件費)				959		830		
単位コスト実績値 1(=総事業費÷成果実績値)				119		103		
単位コスト実績値 2(=総事業費÷成果実績値)				10		8		

4 事務事業の見直し状況や行政課題など

(事前評価にかかげた課題について記入)

見直し状況	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 見直し・改善済み <input type="checkbox"/> 見直しをしたが改善に至っていない <input type="checkbox"/> 検討していない
見直しの内容など	事業開始当時に比べて、長期休業期間中の学習会を実施する学校が増えており、児童生徒の学習のつまずきへの支援が充実してきている。また、参加者数の低迷から実施形態の見直しを行い、児童生徒の興味関心を高めるため宿泊型に変えて実施した結果、参加者からは好評ではあったものの、参加者数が少なかったため、効果は限定的である。平成29年度の実施状況においても、参加者が少なかったことから、当該年度をもって事業を終了することとした。
今後の動向・市民ニーズなど	各学校の学習会が定着してきていることに加えて、学習指導要領の改訂に伴い長期休業期間を短縮して授業時数を確保する学校も増えていることから、参加者数の増加は見込めない状況である。

5 事務事業の評価

ア. 意図する成果に有効に結びついていますか	<input type="checkbox"/> 結びついている <input checked="" type="checkbox"/> 一部結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない 実施後のアンケート結果からも、学習が進んだと回答した割合が非常に高い。
イ. 市以外がその事業に取り組むことは可能ですか (民間、NPO等)	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 一部可能 <input type="checkbox"/> 不可能 既に各学校で学習会の開催を行っている。
ウ. 事業内容の中で、見直しを行う必要はありますか	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input type="checkbox"/> ない 事業継続の妥当性について見直しを行っている。
エ. 単位コストまたは事業費を工夫できるアイデアはありますか	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> 一部ある <input type="checkbox"/> ない 北海道教育委員会の学校サポーター事業を活用することで、旅費補助等によりコスト削減が図れる。
オ. 他の事業との統合について可能性がありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない 類似する事業がない。
カ. 受益者に負担をいただく (又は負担を見直す) 可能性はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> 検討の必要性がある <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> 既に負担がある 宿泊型に変更したため、食費及び保険料に係る参加料を徴収している。

6 事務事業の今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続 (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 手段を見直す <input type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> 簡素化 <input type="checkbox"/> 統合・振替) <input type="checkbox"/> 終期設定あり (H 年度末終了予定) <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了
--------	---

作成年月日

平成30年6月